令和3年1月

1月28日 県政協議会

1月 5日 あきた総合家畜市場初競り 1月30日 由利本荘青年会議所新年式典

1月 6日 要望筒所視察・天鷺村聞き取り JNシステムパートナーズ社長面会(ICT 人材確保:東京並給与水準) 1月 7日 県道の除排雪の状況調

査、空き家の除雪作業の仕組み調 査(地域・所有者・業者による連携) 1月 8日 中利地域振興局総務企 画部・建設部訪問、県による除排雪 の状況、雪崩危険箇所の調査・県の 除雪ボランティアの稼働状況聞き 取り・防雪柵設置要望箇所現地視 察及び西目総合支所訪問

政務調査・要望対応

訪問(西日)

海総合支所)

1月11・12日 除排雪・空き家間き取

り調査(矢島)、状況調査(東由利

1月12日 由利工業須田会長を

1月13日 県防災カルテ・雪崩期

間箇所調査(振興局)、屋根の雪下

ろし聞き取り(由利)、除排雪状況

調査(鳥海・直根)雪崩期間箇所調

杳(鳥海笹子峠)、丁岳橋梁整備・

観光振興に関する打ち合わせ(鳥

1月15日 県営治山事業に関す

1月17日 県民と県職員と人口減

少対策ワークショップ・首都圏の

1月19日 種子条例案関係団体

への説明会(議会特別委員会室)

る要望と協議(振興局)

若者オンライン参加

→横手市大森→大内→岩城)

1月20日 第1回地元定着・帰郷希望と経営者との出会いミーティング(矢島) 1月21日 由利本荘市長へ面会(ぷれっそスーパー撤退後の対応) 1月30日 由利本荘市異業種産業興し会議

令和3年2月

議会

2月1日~3月5日:2月議会 2月28日 県政協議会

政務調査・要望対応

令和3年6月

6月7日 県政協議会

6月議会:6月15日(火)~7月6日(火) 小野総括審査(別掲参照10回目)

查(矢鳥地区·東由利地区市民·両支所)

Fレワーク研修視察・意見交換

支援センター、市内板金業訪問

議 会 **)**再生をクリック!

10月18日(月)~11月5日(金)

と今後の方針について聞き取り

10月 1日 西目心身障害者コロニー訪問

10日 2日 「井生社会と親なき後」講演会(能代市)

10月 6日 県農林水産部より耕畜連携施策

10月10日 下直根地区訪問(檜山滝・袖川)

10日14日 総合政策課へ(保育十售金水準

10月15日 健康につながる歩き方講話(小野)

向上について国へ要望)、高清水園視察

小野総括審査(別掲参照12回目)

令和3年 10月

10月議会(決算認定):

ンネル・発電所等)

6月 1日 仁賀保矢鳥館合線狭隘箇所官民合同調

JA秋田しんせいから要望受け

支援事業所訪問、ロータリークラブリ、コージャパン

治山事業打ち合わせ(野田)

倫理法人会で公約通信簿発表、就労移行

相談員スキルアップ研修会(秋田市) 仁賀保矢島館合線現地調査 小売商業経営マネジメント研修講師意見交換会(本荘)

菅原病院インターバル速歩について 結婚支援センター視察

医師会伊藤先生と面談(社会的処方実証について)

市子育て支援課聞き取り、子育て支援団体意見交換

労働局雇用環境均等室、県女性活躍両立

議会

2月13日 矢島冬祭り・酒蔵店頭販売会参加 2月19日 市内飲食店から聞き取り、県上層 部へ飲食店への支援制度について要請 2月21日 西日海岸風浪による浸食被害調 査(市民)→県へ対応要請(東由利→西目) 2月23日 空き家対策調査(中利本荘市役所 訪問・湯沢市横手市は電話による聞き取り) 2月27日 港湾区域内洋上風力発電シンポジウム

令和3年3月

議 会 **○**再生をクリック!

小野総括審査 (決算総括含め通算9回目)

政務調查•要望対応

3月 1日 秋田大学高齢者医療先端研究センタ ―長訪問(認知症とインターバル速歩)、県健康福祉 部へ認知症予防部会の活動状況について聞き取り 3月 6日 市内飲食店組合からコロナ禍に おける状況聞き取り・飲食店街支援制度PR 3月 9日 商工会にて飲食店街・商店街によ る需要喚起支援の進め方聞き取り

3月19日 西目海岸風浪による浸食対策完了確認 3月26日 三ツ方森訪問(GBビジネス)

令和3年4月

令和3年1月~

4月15日 本会議

4月19日 中利本荘市から県への要望筒所 合同視察協議(鳥海·矢鳥地区) 上野地区町内 会から排水桶管管理について要望あり対応 4月20日 東中利・大内要望筒所合同視察協議

4月13日 板金業訪問・人材確保育成につい て秋田県の組合の長への聞き取り 4月27日 秋田県の障害福祉政策の概要に

ついて県から聞き取り(控え室) 4月28日 西日・由利要望筒所合同視察協議 4月29日 道路と山桜とグルメの地元観光調

査・花立地区酪農スマート農業現地視察 4月30日 岩城地区里地里山活性化現地調査

4月16日 中利本荘テクノネットワーク総会(会員として) 4月17日 矢島高校を応援する会総会

令和3年8月

8月 1日 秋田に住み就職したい若者(留学生)との意見交換 8月 3日 椎茸菌床栽培廃菌床の処分・利活 用について視察(大内)、アナログデザイン 8月 4日 振興局(羽後向田館合線)、廃校を

活用した新事業企画書案検討 8月 5日 廃校を活用した新事業企画書説明(石沢公民館)

8月 6日 西日地区県民意見交換会 8月16日 松ヶ崎地区要望筒所現地視察 8月20日 大曲リハビリテーションクリニッ

ク視察(働き盛り世代のリハビリ) 農林水産 部から聞き取り(廃菌床処理事例) 8月23日 アメリカIT大手日本法人クアル コムジャパン社長須永順子氏(湯沢出身)来

訪、県大学長と意意見交換 8月28日 第3回地元定着・帰郷希望者と経 営者との出会いミーティング(産学センター)

8月 5日 羽後本莊駅東西自由通路·駅舎完成記念式典

令和3年12月

議 会 ▶再生をクリック!

12月議会: 11月25日(木)~12月21日(火)

小野総括審査(13回目)

12月 5日 第4回地元定着・帰郷希望者と 経営者との出会いミーティング(オンライン)

12月 7日 ブラウブリッツ活動報告会(秋田市) 12月 9日 女性活躍表彰企業訪問(秋田市) 12月12日 鳥海地区県民意見交換会

12月14日 秋田労働局訪問 12月15日 TDK秋田訪問、アイルサービス

意見交換 12月20日

師連盟との懇談会 12月21日 鳥海りんどう性能改善に関する要望 12月22日 廃校を活用した新事業に関する 打ち合わせ、振興局農林部(笹子基盤整備)

令和3年5月

議会

5月13日 本会議、県政協議会 5月24日 建設委員協議会(勉強会) 5月27日 建設委員協議会(勉強会)

インフラツーリズム調査(にかほ市横岡、秋田県第一号砂防ダム等) 本井·岩城栗望筒所合同視察協議(以上全市70筒所)

上野町内通学状況調査、東由利総合支所、 市建設部、警察署(横断歩道新設 インターバル速歩インストラクター認定講座受講(信州大学) 本非大内線現地調査

、藤里町虹の家訪問 インフラツーリズム調査(玉川水力発電所、ダムカレー提供飲食店等) 着地型観光経済波及調査(角間川本郷邸、

スーパーラッキー、羽後道の駅等) 5月31日 就労継続支援事業所ささのこ(鳥海)訪問、

5月 1日 遠藤章博士記念碑除幕式 5月10日 秋田県理容生活衛生同業者組合総会(秋田市) 5月17日 由利本荘市商工会総代会

令和3年9月

議会

9月議会:9月10日(金)~10月7日(木) 小野総括審査(別掲参照11回目)

9月 2日 みどり保育園訪問(少子化等) 9月11日 市内飲食店訪問 9月18日 ふたごビレッジ訪問 9月25日 两日海岸·本荘海岸視察

9月28日 畜産農家訪問 (耕畜連携の推進について) 9月26日 地元定着・出会いミーティング振

り返り会(アンケート分析と今後の方針) 9月30日 秋田県社会福祉事業団訪問(強度 行動障害研修等)

議会

交換

行

1月 4日

1月 6日

1月8日・9日

1月15日

令和4年1月

1月21日 県政協議会

政務調査•要望対応

1月 7日 庸瀬産業訪問

9月14日 第14回由利本荘市グランドゴル フ大会開会式(大内)

1月 1日 本荘西目線防雪柵要望箇所調査

1月11日 京北スーパー社長・バイヤー意見

交換会(柏市)、ウインドノット社長意見交換

1月12日 インフラツーリズム調査(春日部

市首都圏外郭放水路)、内閣府幹部との意見

1月 3日 矢島地区県民意見交換会(栄町)

新春商エパーティー

1月28日 由利本莊青年会議所新年式典

1月29日 矢島地区・花咲くアクロポリスの丘市民の会総会

成人式

秋田総合家畜市場初競り

和の住まい推進リレーシンポジウム(遊学舎)

10月 9日 由利高校100周年記念式典 10月28日 羽越本線高速化シンポジウム(本荘) インターバル速歩実践交流会2021 i n由利本荘 10月29日

10月22日 産業起こしの会(本荘)

令和4年2月

議会

2月14日~3月18日まで 2月7 日 県政協議会

2月 1日 通所リハビリサービスを受けてい る方のインターバル速歩実践結果検証 2月 5日 ささのご開所一周年記念式曲

2月 7日 東武トップツアーズ社と意見交換 (インフラツーリズム) 2月 8日 ゆり支援学校訪問

2月19日 日大工学部学生・OBと秋田の魅 力を考える会(オンライン)

2月23日 一般就労移行支援事業所による 相談対応

行 事

2月27日 由利本荘歩こう会総会

令和3年7月

3日 本荘地区飲食店から県の認証制度間き取り調査 本社地区駅長店から深い窓証制展開き取り調査 菅原病院助門・インターバル速歩について 次世代・女性活躍支援課、建設政策課から聞き取り 本社地区市民ミニ意見交換会(駅)的わるべ唄)

7月19日 大雨被害対応(公民館)、小友地区現地聞き取り、市・振興局へ対応方針確認

元定着をテーマのワークショップ 7月27日 大雨被害対応(小友公民館)、県から対応方針

令和3年11月

11月 6日 两日・水産資源商品開発意見交換。 矢島高校応援フォーラム

11月 8日 11月12日 11月15日 11日20日 術文化協会創立30周年記念式典

するフォローアップ(振興局) 動する社長会議(秋田市)

11月29日 クアルコムジャパン・県立大学学 生に対する特別講義、同社との懇談会

3月 8日 県政協議会

校食堂メニュー検討会

3月18日 協働の地域づくりレクチャー、結 婚支援施策レクチャー

3月19日 廃校を活用した新事業=石沢学 校食堂メニュー検討会

筒所現地調査、被災状況聞き取り 3月24日 除雪ロボの実証実験

討議資料

7月 7日 県民要望受け(新沢川)・対応(石沢川)、低 入札価格調査制度(建設政策課) 7月 8日 廃校活用した新事業会合(羽田電線)、畜 産振興課、道路課、東由利総合支所 7月 9日 県民と知事との意見交換会(岩城)

象潟矢島線現地調査大雨被害市内全域調査、通所リハビリ利

7月13日 笹子地区着地型観光打ち合わせ 7月13日 笹子地区着地型観光打ち合わせ 7月14日 廃校を活用した新事業会合(校舎視察)、新沢川大吹川現地協議、大雨被害説明(小友公民館)、大雨(小友) 被災市民から聞き取り調査 7月15日 仕事と子育て支援企業証明/ナー 7月16-17 /版交市氏がら聞き取り調査 仕事と子育て支援企業訪問(大内) 市役所訪問(大雨被害への対応について)、大雨被害間き取り(本荘街中

7月3日、「市・振興局へ対応方針確認 7月20日 小友公民館再訪、被害甚大住家を更に訪問・声を聞く⇒振興局と市へ要請、首都圏若者とのオンライン会議 7月26日 大雨被害対応(市役所)、県立大学生と地

/万2/1位。 について確認、矢島地区、本荘地区企業関係者から聞き取り 7月28日 通門リビリ刺用者のインターバル達歩打ち合わせ 7月30日 人市被害対応について振興局、市と協議 要望、東由利県民意見交換会

11月 4日 矢島・大内、耕畜連携の調査

11月 7日 百宅里歩きツアー(着地型観光) インフラツーリズム調査(成瀬ダム)

西日・水産資源商品開発相談(水産振風ヤンター) ブラタモリ誘致メンバーの会(秋田市) 日沿道建設促進大会,東由利芸

11月21日 畜産振興懇談会 11月22日 岩館いちょう現地調査 11月24日 4月5月実施した要望筒所に関

11月25日 秋田県の人材を育てるために行

11月27日 石沢秋祭り

令和4年3月

3月 5日 廃校を活用した新事業=石沢学

3月 6日 新農林水産業プラン素室章見交換会(アリーナ) 3月 7日 労働局職業安定部訪問(非正規から 正規への転換助成制度)、結婚支援センター訪問 3月17日 畜産振興議員連盟勉強会、林活議 員連盟勉強会

3月20日 畑谷地区役員との意見交換会、三 ツ方森町内との懇談会、鳥海町貝沢土砂崩れ



検索 秋田県議会議員 小野一彦 https://ono.akita.jp/

皆様こんにちは。小野一彦でございます。ここに令和3年1月から令和4年3月までの15ヶ月間の活動を報告 します。この期間の主な活動成果は次のとおりです。

|第4号|| 令和4年3月発行 発行:小野一彦

TEL. 0184-74-6736/FAX. 0184-74-6737

秋田県由利本荘市上大野85-1

- |主要農作物種子条例可決(条例案策定に関わりました。)
- ■令和3年9月の議会一般質問で、介護職・保育職の賃金水準等処遇改善について取り上げました。 引き続き、国・県の制度を活かして進めてまいります。
- アメリカ大手 | T企業の日本法人によるリモートワーク採用等に向けた関係作りが進みました。
- インフラと歴史文化資源等と組み合わせた着地型観光の調査を進め、県の観光ビジョンに盛り込むことができました。
- ■公約に掲げた「秋田に戻りたい・定着したい若者と経営者の出会いの会」を4回開催し、今後の展開に道が開けました。
- |公約に掲げた「廃校を活用した新事業の展開」について、当事者同士のマッチング、事業構想の意形 成および具体的な計画づくりの面でサポートしました。
- |道路・河川等約140箇所について要望への対応をし、事業実施等につなげました。
- ■空き家調査に基づき質問提案をした結果、県の新プラン・予算で市町村等を支援する空き家総合 サポートセンターの設置予算が措置されました。
- 進学のため県外に出る高校生へ、地元企業の紹介を行う事業を由利地域から全県に広げる取組みが進みました。
- ■インターバル速歩について、一般質問等で認知機能の改善等について取り上げた結果、県の答弁を 引き出したほか、由利本荘市民、市の協働によりにかほ市、八郎潟町、大潟村などに広がりました。 私もインストラクターの認定を受け、リハビリテーションを受けている方への実践を検証しました。
- 3月議会の総括審査で、「少子化の原因は初婚者の婚姻数が減ったこと。平均初婚年齢は31歳だが、実際の結婚ピー クは秋田県でも26歳であること」を明らかにし、結婚を希望する方は若い20歳代の頃から積極的な活動をし、それを 企業や地域など社会がサポートすべきであることを明らかにし県当局と共有し今後の方向性を確認しました。

3

4

5

6

その他

1 人口減少対策について

令和3年第1回定例会 予算特別委員会総括審査

第3次秋田県豪雪地帯対策アクションプログラムについて

令和3年度の認知症対策の推進について

首都直下型地震等巨大災害を想定した秋田の防災の推進について

鳥海ダム・水源対策特別措置法による県整備計画の策定状況等について



令和3年7月2日

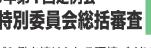
予算特別委員会総括審査

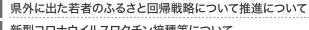


県内企業の賃金アップ戦略について

新型コロナウイルスワクチン接種等について

5 秋田県における社会的処方の推進について





6

その他

令和3年第1回定例会





令和3年第2回定例会

本会議 一般質問



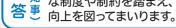
▶再生をクリック!



人口減少対策とし ての賃金水準向上 への道筋について

賃金水準の向上については製造業・商業・サービス業による公労使会議やアンケート 調査での意見に加え、これまでの好事例や、具体的な支援策を集約し、業務提携 や競合化、M&A、人材育成、創意工夫など、業種を問わず活用できる共通事項 の敬 を分析することにいたしております。県としましては、新秋田元気創造プランの策

定にあたり、こうした分析結果を全県庁で情報共有を行うとともに許認可など様々 知 な制度や制約を踏まえ、各業種に即した支援制度を構築することで、賃金水準の





部

県民から県議会に寄せ られた意見について

県 (県民からの意見:介護職員

の賃金等処遇改善について)

県では処遇改善や人材育

成等を進めるための基盤と

なる介護サービス事業所認

証評価制度を推進し、制

度への参加を宣言した事業

所は 120 を超えておりま

す。認証取得事業者の取り

組みについてはこれまで新

聞の特集記事や動画配信

SNS 広告等により周知を

図っておりますが、今後は

より多くの好事例を動画に

より紹介するほか、ハロー

ワークでの放映や就職支援

サイト「こっちゃけ」の活

用などの様々な取り組みに

より県内外の若者等に向け

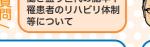
処遇改善が進む介護事業

者の情報をより幅広く発信

してまいります。



働き盛り世代の脳卒中 等について



県では昨年度、秋田県循環器 病対策推進計画を策定し、専 門的なリハビリテーションの 充実のほか市町村が実施して いる多職種連携による自立支

□ 援のための検討会の開催や職 場復帰を目的とした職業訓練 など、地域包括ケアシステム の視点も踏まえた総合的な対 策を実施することとしておりま す。このほかリハビリテーショ ン精神医療センターではリハ ビリロボットを活用し社会復 帰に向けた機能回復訓練を実 施しているほか、医療介護福 祉関係者に対して訓練の活用 を促進するための研修等を実

施し、関係機関との連携を強 化しているところであります。 就労世代への支援については 医療・介護に限らず、様々な専 門機関との連携が重要である ことから、秋田県循環器病対策 テーションの連携について協 護してまいります。



高校の進学予定者を対 象とした企業説明会に ついて

県 就職希望者を中心に職場 見学会や企業説明会等を 実施してきましたが、進学

希望者についても進学前に 地元就職を意識してもらう ため、昨年度から進学者の 多い高校の一年生に対し、 学校単位で企業経営者の 講話や企業ガイダンスを実 施しております。実施した 7校の生徒からは「地元企 業の魅力を知ることができ た。将来の就職先と考えた い。」といった感想が寄せ られた一方で、参加企業の エリアや業種の拡大を求め

る声があったことから、今

年度実施予定の11校につ

いては生徒等のニーズを踏

まえ高校の所在する地域以

外の企業を含め幅広い企業

の参加を求めてまいります。

インフラ資産等と地質・ 歴史・文化財資源を組み 合わせた観光について

県ではダムカードや県の ウェブサイトを通じダムの 形式や事業規模、建設に

至る経緯等の情報を提供す るなど、インフラ資産に関 する積極的な広報活動に努 めているところであります。 また、県内には国の重要文 化財に指定されている歴史 的な土木構造物が残されて いるほか、現在全国にさき がけ、大規模な洋上風力発 電所の建設が進められてお り、これらは観光資源とし ても活用できるものと考え

知 ております。今後はこうし たインフラ資産について観 光資源としての価値を見極 めながら市町村や地域住民 と協力し周辺の様々な地域 資源と組み合わせた新たな ツーリズムの可能性を探っ てまいります。

令和3年10月4日

^{↑ 和 3 年} 予算特別委員会 総括審査 (第2回定例会 予算特別委員会 総括審査 (第2回定例会 予算特別委員会 総括審査 (第2回定例会 予算)



米価下落対策 (当面の資金



公庫資金については概算金が下がるという状況を踏まえ、資金繰り需要を見越し、公庫と協議し説明チラシを作り、認定農業者の協 議会・法人協会・農業委員会等に配布しました。今後、農協や銀行等の窓口でも、きめ細やかな対応ができるよう周知してまいります。



障害の重度化・障害者 の高齢化等への支援に



官民挙げたテレワークの推 進等による仕事と子育ての 両立等への取組について



全国花のまちづくり 由利本荘大会につい

県では地域移行は進めてい スキーニー るものの、その特性に合っ の た支援が大切であると考え ています。強度行動障害の

□ ある方につきましても適切 な支援が継続的に行われる 答 ことで改善は見られるもの

と考えています。施設内で の支援の資質の向上のため の研修や必要な環境の改善 に関しては県として助言し、 研修については継続してま いりたい。

労働力人口が全体で減ってい く中で、テレワークを活用し てそうした生産性を上げてい

くということは、企業にとっ

ても非常に重要なことである と考えています。テレワーク ガイドラインにつきましては、 職業訓練校での講習会でご 答 れまでも紹介してまいりまし た。今後はガイドラインの事

例のほかに県の支援制度で テレワークを導入した企業の 事例や、働き方改革企業の事 例についてウェブサイトや講 習会で紹介するなど、更に横 展開を進めてまいりたいと考

えています。

企業トップとのオンライン 交流については、県内企業 の経営者との意見交換を 今現在高校1年生、2年 生を対象に実施していると

ころですが、こうした機会 は委員ご指摘のように企業 への理解が深まり県内就 職への促進につながるとい う効果が期待できますの で、今後は大学生等に対 しても、業界研究会等の就 活イベントの際、進めてま いります。

私もあの会場に行きまし て、大会を拝見しました。 花というのは見た人を幸 せにする力のほか、地域 の植栽活動などを通じて 地域コミュニティーを創出 する力もあり、改めて花 の持つ力というものを実 感した大会だと思ってい ます。



▶再生をクリック!



秋田県人口ビジョン(案)と新秋田元気

の 回 答(佐竹敬久県知事)

これから先のわが県を見据えた時に、これまで以上に重要な期間



令和3年11月2日 月議会 決算特別委員会 総括審査

令和3年第2回定例会

事業の成果を検証しました



コードをかざすと議 会の様子を動画でご

▶再生をクリック(

声を届けます!



多言語観光サイト「S T A Y A K I T A 」の成果と 今後の活用について



県の観光サイトはもともと日本の観光用に日本人観光者向けに作られたサイトを翻訳したものが中心でしたが、「STAY AKITA」は初めから外国人向けに作ったサイトとなっております。写真等を多くだいでした。フトーリーはウエステスト ストーリー性のある文章で紹介するといった内容になっております。アフターコロナにおける市場というこ とを考えますと、特に欧米あるいはオーストラリアからの旅行客はアジアに比べて滞在期間が長い、旅行 の消費額が多い、ということから有望な市場ではないかと考えております。今後また「STAY AKITA」の 内容の見直しを図りながら効果的な情報発信に取り組んでまいりたいと思っております。ただ欧米といって も範囲が非常に広いので東京、京都、大阪のようなゴールデンルートが中心になってしまいますので、い かに秋田に来て頂くか、目を向けてもらうかというのを考えた場合に何をフックにするかというのが非常に 大事になってくるかなと思っております。そういった意味では今年度、県北のお弁当屋さんがフランスのパ リで駅弁を販売するといった例もありますし、今年度パリで秋田の物産フェアを開催することになっており ます。そういったところの評価も勘案しながら欧米市場の開拓に取り組んでまいりたいと考えております。

部局別決算審査 令和3年10月18日~26日

あきた未来創造部門 結婚・出産・子育てに暖かい社会づくりについて



結婚や子育てを社会で支える機運を醸成する事業について、現役世 代や次の親世代が課題を共有し課題解決のため行動するプロジェク トチームを、羽後町とにかほ市で設置し機運の醸成を図ったとある が、今和元年に私が全県市町村への調査を行った際、羽後町の若 者と鹿角市の若者が交流会を開催すると聞いた。そうしたこれまで の取組を全県に広げて行くべきだ。

羽後町と鹿角市の若者が交流会をしたと聞いている。他市町村でもこうした活動が 見られたが、コロナで活動が停滞した。県としては各地域的なイベントでなく、全県域を対象として教育現場や市町村と連携して結婚・子育ての機運の醸成を図っていく。



秋田県全体は各地域で成り立っている。これまで活動してきた方々 鹿角市と羽後町といった秋田県全体をエリアに活動してきた方々の 認識の共有、活動の合意など「目に見えない成果」があるはず。 全県で県民自ら行動を拡大していくには、プロセスがある。「コロナ で活動が停滞している。」で終わらせず、県と市町村との協働で機 運の醸成や具体のアクションの拡大に努めるべきだ。

今まで各地域で活動してきた若者たちのエネルギーや関わり合いといった目に見えな 財産を生かして機運の醸成をどう進めていくか新プランの検討の中で考えていきたい。

健康福祉部門 医業承継のシステムの成果・課題について



県内各地で診療所等を運営されている医師の跡継ぎがおらず住民 も心配している事例が多くなっていると推察する。この承継システム の稼働状況について令和2年度、そして現在どうなっているのか。

・昨年の補正予算で計上。県医師会に委託。令和2年度は自分の「診療所を委譲したい」、「譲り受けても良い」などのアンケート調査を行、いそのマッチングのためのホームページ作成のための設計を行った。

アンケート調査によると、60歳代以上の医師が経営する診療所の過半数が後継者 サイトそのものは令和3年7月に運用開始。7,8,9月の三ヶ月間で32件の相

談があった。 自身の診療所の譲渡を希望する方が 6 件、譲り受けの申し出が県外から 3 件、県内5件あった。うち1件は話し合いが進んでいる。今後はさらにPRをするとともに、

医師会では医業承継セミナーを開催するなど取組を強化していく。



南秋田では若い医師が移住してきた。医師の移住という視点からも アンテナを広げ、未来創造部等とも連携して進めていくべきだ。

他部局とも連携するなど取組を強化していく。

県・市町村間の協働推進 空き家対策について



各振興局の88件の事業について記載されている。主要な施策の成果 には具体の事業は記述されていないが、仙北地域振興局実施の事業 で、県と大仙市、仙北市、民間企業等が連携して空き家の無料相談会 を開催した結果、空き家バンクへの掲載、解体、売却など成果が見ら れた。空き家の問題は益々大きな問題となっている。こうしたひとつの 地域振興局で実施した事業でも効果的なものは全県に展開すべきだ。

本県の空き家は 6 万軒。20 年間で 2.6 倍に増加。仙北地域振興局の取組は毎年、30 件、40 件の相談があると聞いている。住民の関心も高まり、最近では豪雪で家屋の劣化も進んでいる。法律では空き家は市町村で県は好事例を紹介するとなっているが、一つの市町村では対応できない問題もあると思うので、どのようなサポートができると知識をしています。 できるか研究していきたい。



県と市町村の役割分担論で県民のための施策のあり方を止めるべき でない。空き家は過疎化高齢化先進県の秋田県全体の問題である。 個々の市町村ではできないこと、市町村でなかなか進まないような 分野についての支援など県がやるべきことはある。進めるべきだ。

空き家の問題は顕在化してきている。市町村とも意見交換しながらどのような対応が 一番良いのか検討していく。

令和4年度から「空き家総合サポートセンター」開設へ

生活環境部門 環境保全に関する普及啓発



温暖化対策は、発電する側の電源構成の問題と、使用する側の省工 ネや再エネ使用という部分に分かれているが、県の生活環境部の取 組としては、後者の取組、県民一人一人の取組を広げて行くことで 効果を出していくことがメインだと思うが、令和2年度の成果・課題・

一人一人の意識と行動が温暖化を防ぐと言うことで、国でも国民のライフスタイルの 変革が必要としている。昨年度はコロナ禍で啓発イベントも制約されたが、温暖化抑 止につながるライフスタイルの変革の重要性と行動変容の必要性についていかに無関 心層につなげていくかが重要と考えており、行動変容を促すようなアプリやSNSを



個々の県民の取組を促すためには、自分たちがこういう取組を行えば、全体として温暖化がこのくらい抑止されるというような行動と成果の共有も必要だ。それはどう考えているか。

環境に優しい行動をするとポイントがもらえ、どのくらいCO2が減ったかが分かるアプリの活用を進めている。それと家庭における無料の省エネ診断の制度もある。来年度はもっと力を入れて普及して行く。



省エネに関わる住宅、機器の事業所の方々など県民全体で進め ていくべきだ。県民の活動と事業者との連携を強化して取り組 むべきである。

秋田県は家庭からのCO2排出量の割合が全国に比べて多いことから、住宅関連の事業者様との連携もますます深めてまいりたい。

予算特別委員会 総括審査

第1回定例会



小野かつひこ facebook

少子化は初婚の婚姻者が激減していることが主な原因で秋田県 も同じだ。平均初婚年齢の31.2歳に惑わされ、実際の結婚ピー クの 26 歳を想定し早い段階から婚活をせず、タイミングを失し

委員ご指摘のデータは目からうろこだった。今後は高校生、企業、 地域などでそうした状況について啓発を進め、結婚支援センターへ の20代からの登録活用なども進めて参りたい。



県では非正規の社員を正規に転換することがプロセスとして大事と考える。 その際、国の「キャリアアップ助成金」を参考に転換制度、計画策定、 人材育成、管理者への支援などをセットに行うべきだ。

賃金水準の向上について、県民との意見交換の場で、中小零細企業が多い本

ご指摘のとおりと考える。一方キャリアアップ計画の策定、運用など中小零細企業の体制では難しいとの声もあることから、新年度にはそうした取組を広げるために社会保 険労務士による支援などの事業も創設するなどサポート体制を強化してまいりたい。



令和3年第2回定例会 予算特別委員会 総括審査

創造プラン(素案)について

人口減少問題の克服に向けたプラン推進期間の4年間というのは

になるのだと考えております。感情論を捨て冷徹に現状をしっか り見据えてチャレンジする。そういった風潮が一番必要だと感じます。その中でも重要なのはやはり子供。いかにスキルを身に着けるかが大事。そして女性の活躍。本県が持つ農業基盤、エネルギー、こういったものをしっかり踏まえてこれを今後の10年20年のベースにする。これがまさにこの3、4年であろうと思うので、そういった視点を踏まえながらしっかりやっていきたいと思います。

